

## 高等部2年 在宅実習プログラム

県教育委員会が高等部2年生を対象に行った、ICT 機器を活用した在宅実習プログラムに当校の生徒が参加しました。

在宅実習とは、企業と参加生徒の自宅をつなぎ、オンラインで行う実習です。今回は教室で実習しましたが、自宅を想定しているため、仕事の指示や報告、質問、業務データの送付にはWEB 会議システムを使用して、企業の担当者様とやりとりしました。

今回は、鍋屋バイテック様に3日間ご協力いただき、パソコンを使った部品の製図に挑戦させていただきました。

企業の担当者様からは、「図面を描く時に大切にすることを教えた後はそれを忠実に守り、最後には見本図とほぼ変わらないレベルの形に仕上げることが出来ました。・・・(中略)・・・これからの世の中の流れに注目して、必要とされる知識やスキルを見つけて伸ばしていくと、社会に必要な人材になれるでしょう。」と評価をいただきました。

＝生徒の感想＝

作業内容(作図等)はとても難しかったです。担当の方が丁寧に説明してくださり、諦めずに最後まで進めることができて良かったです。この実習を通して、パソコン操作に自信がもてるようになりました。これをきっかけに、パソコンのスキルを一層高めていきたいと思いました。

